

やま
と



事務局用

金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会

H 6. 12. 24 筑速

会報2号 (94冬号)

OB会会長の挨拶

13期 大島 良治

OBの方々にはお元気にお過ごしのことと思います。近頃の金沢の天候は暑い夏が終わり（本当に暑い夏でした）、涼しいというより、肌寒く感じます。北陸の冬が、もうすぐ到来しそうだという事が、何となく判る天候でもあります。

先日、後輩達（現役の3回生）8名と会食し、楽しい時間を過ごしました。

以下、その話題を紹介しますと

1) 山小屋の改修は、屋根、床張りが終了し、壁板張りを残すのみだそうです。OB会より小屋作業に、特別援助金5万円を差し入れましたが、彼等はこれを4パーティーに分け、ある隊は松茸、ある隊はメロンを購入して英気を養い、作業能率は抜群に向上したとのことでした。

2) 現役3回生8名の役割は、主将、副将、パーワン議長、---（残りの名称は忘れましたが）、全ての3回生が役割分担をしているそうです。昔はそんなに沢山なかった様に記憶しています。OB連絡係もありましたので、安心しました。

3) 最近では冬合宿もしているそうです。（編者

注；初めはスキー合宿だけでしたが、昭和44年冬より冬山合宿が始まり、以後ずっと継続されております。）本年は荒島岳？に決定しているとか。昔のように（20年以上前）、何か最終目標の山があるのか、聞くのを忘れましたが、きっとあるのでしょう。

4) 新しい部室は、ワンゲルだけで一部屋使用していた以前とは違い、大部屋で、囲いも何もない空間だそうです。何を当局は考えているのでしょうか。本当に理解に苦しみます。この大部屋部室に、私が時計を近々持って行ってあげようと約束しましたが、仕事で角間キャンパスへ日参しておりますにもかかわらず、今日現在実行されてはおりません。本年中には何とか...

5) 今ワンゲルが「一番欲しい、必要としているものは？」という話題では、昔はテントが一番、ホエーブス（今でもあるのか？）が二番、と相場は決まっていたように思います。現役諸君の話を総合的に判断すると、何となく昔と同様でしたが、切実な感はありませんでした。現在は物質文明である事が良く判りました。

6) -----

以上で終わり

尚、当日はOB会の役員会も兼ねており、二

三の決め事もしましたので、事務局の舟田さんより、皆様に御連絡されると思います。

その中で、会費払込対象OBは450名強ですが、払込済の方は現在、三分の一強です。忙しい生活を送っているOBも大勢おいでになる筈なので、落ち着いた頃にはきっと会費を払込んでいただけるものと信じております。次のOB総会までは、この様な考えで、全OBの方々へ

の連絡を継続していくという事で、ご承認下さるようお願い致します。

最後に、北陸の冬は天候にはあまり恵まれませんが、食べ物には大変恵まれています。金沢に何年も御無沙汰しておいでの方がおありでしたら、北陸の味を思い出す旅行を計画し、その折新しい部室も訪問したらいかがでしょうか。では皆様、お元気で過ごして下さい。

予告

来秋 BHにて「月見の宴」を開催！

昨秋に続き今年もBHの改修が行われ、数年ぶりに小屋は宿泊可能となりました。
多大な御協力をありがとうございました。



さてこの機会に、「改修披露」を趣旨として、「月見の宴」を催すことに致しました。昨夏の35周年記念山行が悪天により中止となり、山恋のエネルギーを持て余されている方々も多いことと存じます。倉谷は、KUWVの歴史の刻まれた地。犀川ダムから1時間強といっても、なかなか訪ねられないのは、ワンゲルの仲間もいてこそ懐かしい土地の思いが強いためではないでしょうか？

主催はOB会。各種連絡や会計事務を担当し、現役には現場進行を依頼します。日時は来年度新執行部が誕生してからご連絡しますが、現在小屋作業にあてられている9月下旬あたりが有力です。

つきましては、同封の一言通信葉書の所定欄にて、参加希望をお知らせ下さい。参加概数を把握して、企画を練っていきます。次回会報('95年夏号)に、正式の案内状と、参加申し込みはがきを同封します。

くこれまでこの種の企画は、初代BH完工後(昭和39年11月)、二代目BH完工後(昭和49年10月)にとりおこなわれました。その他にBHへOB諸氏をご招待したのは、昭和48年11月の部創立15周年記念、昭和52年、昭和54年となっており、15期桂氏の13回忌を行った昭和57年5月が最後になるようです。小屋作業が衰退した近年ではOB御招待といった企画が出てくる余地もなかったようでした。

今回、昨年度の執行部36期生からの努力により小屋が宿泊可能となり、このような企画をOB会側から立案致しました。しかしながら、後の小屋作業の記録をお読みいただければわかりますように、小屋の耐用年数はほぼ尽きております。現役主体で判断してもらえばよいといっても、一年限りで交替していく執行部には「どちらの」結論も出しかね、重過ぎる課題であることをご理解いただきたく思います。

あるいは今回が、BHにOBをご招待できる最後となるかもしれません。秋の夜長、倉谷の流れにありし日々を懐かしみながら、今後についての指針が協議できれば何よりと思います。もちろん、馬鹿騒ぎのみで終わりましたも、小屋活用の趣旨の方は全うできますので、十二分にアルコールを用意されて、お越し下さい。>

